



2024年12月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(連結)

2024年8月14日

上場会社名 株式会社シンシア
コード番号 7782 URL <https://www.sincere-vision.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 中村 研

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部長 (氏名) 荒井 慎一 TEL 03(5615)9059

半期報告書提出予定日 2024年8月14日

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第2四半期(中間期)の連結業績(2024年1月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	3,089	1.2	182	3.1	180	27.1	94	43.2
2023年12月期中間期	3,053	9.4	176	64.9	247	75.3	166	92.8

(注)包括利益 2024年12月期中間期 327百万円 (11.8%) 2023年12月期中間期 371百万円 (1.8%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期中間期	14.86	14.86
2023年12月期中間期	26.37	26.25

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期中間期	5,665	2,667	47.1
2023年12月期	5,400	2,483	44.6

(参考)自己資本 2024年12月期中間期 2,667百万円 2023年12月期 2,410百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期		0.00		14.00	14.00
2024年12月期		0.00			
2024年12月期(予想)				12.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日~2024年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,353	6.6	386	2.5	374	16.1	246	16.6	38.68

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - 以外の会計方針の変更 : 無
 - 会計上の見積りの変更 : 無
 - 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年12月期中間期	6,862,200 株	2023年12月期	6,862,200 株
期末自己株式数	2024年12月期中間期	457,812 株	2023年12月期	519,412 株
期中平均株式数(中間期)	2024年12月期中間期	6,370,118 株	2023年12月期中間期	6,316,856 株

第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
中間連結損益計算書	7
中間連結包括利益計算書	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における我が国経済は、行動規制緩和により経済活動は正常化、さらにインバウンド需要の高まりも加わり、緩やかながら景気は回復基調の動きが見られました。しかしながら不安定な国際情勢による資源・エネルギー価格の高騰や為替変動による物価上昇など、先行きは不透明な状況が継続しております。このような環境下、当社は、外部環境の変化に対し耐性のある事業を推進することで収益の確保に注力いたしました。

コンタクトレンズ業界におきましては、急速な少子高齢化に伴う人口減少が進んでいるものの、1日使い捨てタイプコンタクトレンズへのニーズのシフトや、高機能新素材レンズの普及により1人当たりの購入単価は上昇傾向にあります。またスマートフォン等、デジタル機器の普及により近視人口の急激な増加・若年化が進んでいます。さらに、カラーコンタクトレンズ市場の拡大等もあり、コンタクトレンズ市場は緩やかながら拡大するものと推測しております。このような環境の下、各メーカー間における価格、販路、広告戦略等々の競争が激化していることに加え、市場のニーズから乱視用、遠近両用などの多機能レンズが発売されるなど、製品力強化の必要性も高まっており、当社もそれらに対応すべく販売力、製品力強化に注力しております。コンサルティング事業については事業運営委託を受けた医療脱毛クリニックの業績も堅調に推移しております。また、前連結会計年度末より新たなセグメントとして加わったシステム事業においては、2023年11月にM&Aにて獲得したリユース業界向けPOSシステムのリーディングカンパニーである、株式会社タロスシステムズの業績を当中間連結会計期間より連結しております。

このような状況下、M&Aの効果と、主軸のコンタクトレンズ事業が堅調に推移したことにより、売上高は3,089,676千円(前年同期比1.2%増)となりました。利益面では、為替予約実施により期中における急速な円安による原価上昇を抑制するなど、為替変動への耐性を強化することで着実な利益確保に邁進しました。さらに新セグメントのシステム事業においても利益を創出し、営業利益は182,410千円(同3.1%増)となりました。経常利益はデリバティブ評価益の大幅減少により180,262千円(同27.1%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は94,647千円(同43.2%減)となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。なお、前連結会計年度末より新たに報告セグメントとして追加したシステム事業については、前年同期比較は行っておりません。

(コンタクトレンズ事業)

当社ブランド商品につきましては、クリアレンズは当社主力商品であるシリコーンハイドロゲル素材コンタクトレンズ「シンシアワンデーS」が眼科医、ユーザーから高評価を得たことから取扱店舗数も継続して伸長し、売上高は675,616千円(前年同期比5.2%増)となり、結果、クリアレンズの売上高は1,549,370千円(同3.7%増)となりました。カラーレンズは、クリアレンズ同様、シリコーンハイドロゲル素材の「シンシアワンデーSクレシェ」が160,130千円(同26.1%増)と大幅に増加したことに加えて、「シンシア2ウィークSクレシェ」の売上も好調に推移し340,226千円(同7.0%増)となりました。プライベートブランド商品の売上高につきましては、クリアレンズは、834,451千円(同17.6%増)と増加したものの、カラーレンズは、市場環境悪化により139,315千円(同72.2%減)と大幅に減少いたしました。その結果、コンタクトレンズ事業の売上高は2,864,803千円(同5.2%減)となりました。セグメント利益は、269,487千円(同2.7%増)となりました。

(コンサルティング事業)

コンサルティング事業につきましては、2022年末に事業譲渡を受けた、医療法人緑風会が運営する医療脱毛クリニックの運営管理サポートによるもので、売上高は30,000千円(前年同期は30,000千円)、セグメント利益は14,275千円(前年同期比70.2%増)となりました。

(システム事業)

システム事業につきましては、今後、市場ニーズの高まりにより成長が見込まれるリユース業界向けPOSシステムのリーディングカンパニーである、株式会社タロスシステムズの株式51%を2023年11月に取得して連結子会社とし、2024年3月に同社株式の49%を追加取得し完全子会社としております。売上高は194,872千円、セグメント利益は25,000千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は4,770,673千円となり、前連結会計年度末に比べ162,627千円減少いたしました。これは主にデリバティブ債権が171,796千円増加したものの、受取手形及び売掛金が164,351千円、現金及び預金が148,703千円それぞれ減少したことによるものであります。

当中間連結会計期間末における固定資産は894,409千円となり、前連結会計年度末に比べ427,638千円増加いたしました。これは主に子会社である株式会社タロスシステムズの株式の追加取得により、のれんが255,265千円、デリバティブ債権が165,730千円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、資産合計は5,665,083千円となり、前連結会計年度末に比べ265,011千円増加いたしました。

(負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は2,104,512千円となり、前連結会計年度末に比べ13,903千円減少いたしました。これは主に買掛金が174,141千円増加したものの、借入金の返済により短期借入金が150,000千円、未払法人税等が24,299千円、その他に含まれる未払金が14,986千円それぞれ減少したことによるものであります。

当中間連結会計期間末における固定負債は893,432千円となり、前連結会計年度末に比べ95,518千円増加いたしました。これは主に繰延税金負債が88,838千円、長期借入金が12,339千円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は2,997,945千円となり、前連結会計年度末に比べ81,614千円増加いたしました。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は2,667,138千円となり、前連結会計年度末に比べ183,396千円増加いたしました。これは主に子会社である株式会社タロスシステムズの株式の追加取得により非支配株主持分が73,267千円減少したものの、繰延ヘッジ損益が233,602千円増加したほか、自己株式の処分により自己株式が41,205千円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は47.1%（前連結会計年度末は44.6%）となりました。

(キャッシュ・フロー状況の分析)

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ148,703千円減少し、2,045,660千円となりました。各キャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、主に税金等調整前中間純利益180,262千円の計上、仕入債務の増加額172,921千円、売上債権の減少額165,175千円等の増加要因に対し、法人税等の支払額101,236千円、為替差益59,741千円の計上等の減少要因により、452,393千円の収入（前中間連結会計期間は46,899千円の支出）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、主にデリバティブ取引による収入26,970千円等の増加要因に対し、子会社株式の取得による支出367,010千円、外国為替差入証拠金の純増額35,943千円、有形固定資産の取得による支出24,551千円等の減少要因により、404,970千円の支出（前中間連結会計期間は81,538千円の支出）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、主に長期借入れによる収入127,700千円等の増加要因に対し、短期借入金の純減額150,000千円、長期借入金の返済による支出117,591千円等の減少要因により、223,712千円の支出（前中間連結会計期間は265,771千円の収入）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2024年2月14日の「2023年12月期決算短信」で公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,194,364	2,045,660
受取手形及び売掛金	1,096,944	932,592
商品	979,780	929,365
貯蔵品	77,474	59,635
デリバティブ債権	193,135	364,931
外国為替差入証拠金	285,777	321,721
その他	116,953	127,728
貸倒引当金	△11,128	△10,960
流動資産合計	4,933,300	4,770,673
固定資産		
有形固定資産	56,642	75,752
無形固定資産		
のれん	332,598	587,863
その他	14,119	17,313
無形固定資産合計	346,717	605,177
投資その他の資産		
繰延税金資産	14,828	198
デリバティブ債権	—	165,730
その他	54,905	54,318
貸倒引当金	△6,321	△6,766
投資その他の資産合計	63,412	213,480
固定資産合計	466,771	894,409
資産合計	5,400,072	5,665,083

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	141,847	315,989
短期借入金	1,300,000	1,150,000
1年内返済予定の長期借入金	220,182	217,952
未払法人税等	93,843	69,543
賞与引当金	12,118	13,650
株主優待引当金	3,619	—
その他	346,806	337,377
流動負債合計	2,118,416	2,104,512
固定負債		
長期借入金	779,231	791,570
長期預り保証金	13,000	13,000
繰延税金負債	23	88,862
デリバティブ債務	5,659	—
固定負債合計	797,914	893,432
負債合計	2,916,330	2,997,945
純資産の部		
株主資本		
資本金	273,422	273,422
資本剰余金	317,193	300,915
利益剰余金	2,031,300	2,037,148
自己株式	△322,630	△281,425
株主資本合計	2,299,285	2,330,061
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	128,093	361,695
為替換算調整勘定	△16,904	△24,619
その他の包括利益累計額合計	111,188	337,076
非支配株主持分	73,267	—
純資産合計	2,483,741	2,667,138
負債純資産合計	5,400,072	5,665,083

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
売上高	3,053,249	3,089,676
売上原価	2,156,695	2,118,511
売上総利益	896,554	971,164
販売費及び一般管理費	719,626	788,754
営業利益	176,928	182,410
営業外収益		
受取利息	15,737	4,539
デリバティブ評価益	80,785	6,485
その他	1,000	3,433
営業外収益合計	97,522	14,459
営業外費用		
支払利息	3,462	7,407
為替差損	19,963	6,008
株式報酬費用消滅損	2,867	1,868
その他	1,053	1,323
営業外費用合計	27,346	16,607
経常利益	247,104	180,262
特別損失		
固定資産除却損	536	—
特別損失合計	536	—
税金等調整前中間純利益	246,567	180,262
法人税、住民税及び事業税	62,984	77,940
法人税等調整額	17,015	370
法人税等合計	79,999	78,311
中間純利益	166,568	101,950
非支配株主に帰属する中間純利益	—	7,303
親会社株主に帰属する中間純利益	166,568	94,647

中間連結包括利益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
中間純利益	166,568	101,950
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	212,339	233,602
為替換算調整勘定	△7,096	△7,714
その他の包括利益合計	205,243	225,888
中間包括利益	371,811	327,839
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	371,811	320,535
非支配株主に係る中間包括利益	—	7,303

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	246,567	180,262
減価償却費	4,807	5,390
敷金償却額	284	284
のれん償却額	2,049	31,173
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△41,719	△388
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,481	1,532
返金負債の増減額(△は減少)	5,448	△1,997
契約負債の増減額(△は減少)	△24,772	19,952
受取利息及び受取配当金	△15,737	△4,540
支払利息	3,462	7,407
為替差損益(△は益)	△15,978	△59,741
デリバティブ評価損益(△は益)	△80,785	△6,485
固定資産除却損	536	—
売上債権の増減額(△は増加)	121,376	165,175
棚卸資産の増減額(△は増加)	△441,815	68,254
前渡金の増減額(△は増加)	73,285	—
仕入債務の増減額(△は減少)	176,603	172,921
その他の資産の増減額(△は増加)	△7,938	11,794
その他の負債の増減額(△は減少)	5,760	△34,242
小計	9,955	556,752
利息及び配当金の受取額	15,738	4,531
利息の支払額	△3,316	△7,988
法人税等の支払額	△69,856	△101,236
法人税等の還付額	579	333
営業活動によるキャッシュ・フロー	△46,899	452,393
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△578	△24,551
無形固定資産の取得による支出	△10,511	△4,750
デリバティブ取引による支出	△18,519	△256
デリバティブ取引による収入	6,469	26,970
子会社株式の取得による支出	—	△367,010
敷金及び保証金の差入による支出	△11,365	—
敷金及び保証金の回収による収入	1,142	390
外国為替差入証拠金の純増減額(△は増加)	△48,175	△35,943
その他	—	180
投資活動によるキャッシュ・フロー	△81,538	△404,970
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	300,000	△150,000
長期借入れによる収入	100,000	127,700
長期借入金の返済による支出	△109,059	△117,591
自己株式の処分による収入	—	4,869
配当金の支払額	△25,169	△88,690
財務活動によるキャッシュ・フロー	265,771	△223,712
現金及び現金同等物に係る換算差額	22,556	27,586
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	159,890	△148,703
現金及び現金同等物の期首残高	1,132,650	2,194,364
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,292,540	2,045,660

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報及び収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結損 益計算書計 上額 (注) 2
	コンタクト レンズ事業	コンサルテ ィング事業	システム事 業	計		
売上高						
コンタクトレンズ						
当社ブランド						
クリアレンズ	1,494,108	—	—	1,494,108	—	1,494,108
カラーレンズ	317,996	—	—	317,996	—	317,996
プライベートブランド						
クリアレンズ	709,739	—	—	709,739	—	709,739
カラーレンズ	501,405	—	—	501,405	—	501,405
その他	—	—	—	—	—	—
コンサルティング	—	30,000	—	30,000	—	30,000
システム	—	—	—	—	—	—
顧客との契約から生じ る収益	3,023,249	30,000	—	3,053,249	—	3,053,249
外部顧客への売上高	3,023,249	30,000	—	3,053,249	—	3,053,249
計	3,023,249	30,000	—	3,053,249	—	3,053,249
セグメント利益	262,322	8,385	—	270,708	△93,779	176,928

(注) 1. セグメント利益の調整額△93,779千円は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門に係る販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報及び収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結損 益計算書計 上額 (注) 2
	コンタクト レンズ事業	コンサルテ ィング事業	システム事 業	計		
売上高						
コンタクトレンズ						
当社ブランド						
クリアレンズ	1,549,370	—	—	1,549,370	—	1,549,370
カラーレンズ	340,226	—	—	340,226	—	340,226
プライベートブランド						
クリアレンズ	834,451	—	—	834,451	—	834,451
カラーレンズ	139,315	—	—	139,315	—	139,315
その他	1,440	—	—	1,440	—	1,440
コンサルティング	—	30,000	—	30,000	—	30,000
システム	—	—	194,872	194,872	—	194,872
顧客との契約から生じ る収益	2,864,803	30,000	194,872	3,089,676	—	3,089,676
外部顧客への売上高	2,864,803	30,000	194,872	3,089,676	—	3,089,676
計	2,864,803	30,000	194,872	3,089,676	—	3,089,676
セグメント利益	269,487	14,275	25,000	308,763	△126,353	182,410

(注) 1. セグメント利益の調整額△126,353千円は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門に係る販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度において株式会社タロスシステムズを子会社化したことに伴い、前連結会計年度末より新たに報告セグメントとして「システム事業」を追加しております。

なお、前中間連結会計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成しておりません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当中間連結会計期間において、連結子会社である株式会社タロスシステムズの株式を追加取得したことに伴い「システム事業」セグメントにおいて、のれんが286,439千円発生しております。